

田原本町まち・ひと・しごと総合戦略の進捗状況

基本目標 1 田原本町に住み続けることができる働く場を創る														
数値目標・実績														
項目	H26	H27	H28	H29	H30	直近値 (R1)	進捗 S・A・B・C・D	評価 (成果、課題)	今後の取組方針	目標値 (R3)	主担当 部局	担当課		
	K P I													
町内事業所従業員数	11,916人	—	11,167人	11,167人(H28)	11,167人(H28)	11,167人(H28)	C: やや計画より遅れている	数値は経済センサスH28年調査結果による。 IC周辺の産業用地の創出が進み、企業による土地利用に向けた手続きが進められており、雇用の創出が期待される。	更なる企業誘致を進め、雇用の創出を図っていく。	11,682人	産業建設部	地域産業推進課		
誘致企業数	7件(延べ件数)	8件(延べ件数)	8件(延べ件数)	11件(延べ件数)	11件(延べ件数)	11件(延べ件数)	B: 計画通り	奨励金制度の要件を満たすのが難しく、申請がないため数値は伸びていないが、奨励金に関係なく、企業の立地は進んでいる。	農政係と連携し、立地可能な用地を抽出し、更なる企業誘致を進めていく。	15件(延べ件数)	産業建設部	地域産業推進課		
商工会加盟事業者数	578人	568人	549人	550人	535人	536人	A: やや計画以上に進んでいる	商工会加盟数は減少傾向にある。	融資制度の運用により創業支援に取り組むとともに、商工会等の関係機関と連携し、中小企業の振興を図る。	508人	産業建設部	地域産業推進課		
施策	K P I											主担当 部局	担当課	
	指標名	H26	H27	H28	H29	H30	直近値 (R1)	進捗 S・A・B・C・D	評価 (成果、課題)	今後の取組方針	目標値			
(1) 事業者にとって魅力的なまちにする	①雇用創出の視点からの企業誘致、中小企業支援	駅前空き店舗解消数(累計)	1件	1件	1件	1件	1件	3件	B: 計画通り	空き店舗対策事業補助金を活用し、1店舗解消された	R元年度で終了	—	産業建設部	地域産業推進課
	②都市の生活利便性向上の視点からの商業活性化	中小企業資金融資件数	41件	44件	45件	43件	52件	32件	B: 計画通り	対前年で20件減少となった。これは制度利用者による借換申請が少なかったことによるものと考えられる。	R2年度より制度改正 既存事業者に加え、新規起業者の支援を行うことにより、中小企業振興に取り組む	50件	産業建設部	地域産業推進課
	③都市魅力向上の支店からの駅前の活性化													

施策	指標名	K P I										主担当 部局	担当課	
		H26	H27	H28	H29	H30	直近値 (R1)	進捗 S・A・B・C・D	評価 (成果、課題)	今後の取組方針	目標値			
(2) 資源を最大限に活かした産業を育む	①農業の担い手の育成	新規就農者数 (延べ人数)	4人	6人	7人	7人	8人	8人	B: 計画通り	約2年に1人のペースで増加している。今後も目標達成に向けて、農業のPRをする必要がある。	地域の担い手育成のため、継続的に取り組んでいく。	10人	産業建設部	地域産業推進課
		集落営農組織数	1組織	1組織	1組織	1組織	1組織	1組織	B: 計画通り	農業の効率化のために集落営農組織は有効であるので、今後も相談等があった場合は、積極的にサポートする。	地域の担い手育成のため、継続的に取り組んでいく。	2組織	産業建設部	地域産業推進課
	②農産物の高付加価値化	農業制度資金活用件数	3件	5件	5件	6件	7件	9件	B: 計画通り	新たに2件の申請があり、新たに設備投資がなされ、経営基盤の強化に寄与している。	農業経営を行っていく上での設備投資等を行いやすくするように、今後も継続的に取り組んでいく。	10件	産業建設部	地域産業推進課
		推進する作物の耕作面積	0.5ha	0.5ha	0.7ha	0.7ha	0.7ha	0.9ha	C: やや計画より遅れている	味間いもは連作障害が起こることから、生産地の確保が難しく、生産量の確保が課題である。	味間いもの生産を推進していく。	1.5ha	産業建設部	地域産業推進課
(3) まちのブランド化につながる産業を育む	①大和野菜等、ブランド力の高い野菜の生産の促進	県で認定された大和野菜の生産品目数	1件	1件	1件	1件	1件	1件	B: 計画通り	現在認定を受けている味間いものPRに力を入れており、加工品の販売を行っている。新たな伝統野菜認定のために、農産物の歴史的背景などの要件を調査する必要がある。	伝統野菜の抽出、PR活動を行い、ブランド力の強化に取り組む。	2件	産業建設部	地域産業推進課
		②農畜産物・特産品の周知												
		ふるさと応援寄付金返礼品登録件数						208件	B: 計画通り	返礼品は200件を超えているが、出品事業者301に満たない。返礼品を増やすため、新規事業者を開拓する必要がある。	観光協会をベースに組織される一般社団法人と連携し、新規事業者の登録を促し、魅力ある返礼品の拡充に努める。	300件	産業建設部	地域産業推進課
	③唐古・鍵遺跡等の歴史資源を活用したブランドづくり	「楼閣くん」の商標利用件数 (累計)	—	—	11件	54件	57件	68件	A: やや計画以上に進んでいる	令和元年度は、唐古・鍵遺跡史跡公園におけるイベント等に伴う利用が4件、店舗等の利用が2件であった。	町公式キャラクターと「楼閣くん」との棲み分けや、唐古・鍵遺跡ロゴマークの周知を行い、利用を促す。	66件 (延べ件数)	教育委員会	文化財保存課

田原本町まち・ひと・しごと総合戦略の進捗状況

基本目標2 田原本町への新しいひとの流れをつくる													
数値目標・実績													
項目	H26	H27	H28	H29	H30	直近値 (R1)	進捗 S・A・B・C・D	評価 (成果、課題)	今後の取組方針	目標値 (R3)	担当 部局	担当課	
社会増減数 (転入者数－転出者数)	△183人	△53人	△97人	△58人	△6人	43人	A: やや計画以上に進んでいる	主に転入増により社会増減数が大幅に改善した。 (転入1,166人・転出1,123人)	道の駅等々を活用した町の魅力発信、企業誘致による雇用の場の確保、近居支援等により、引き続き転出抑制に努めると共に、子育てしやすい町として、転入増加に努めていく。	△41人	町長公室	企画財政課	
観光入込客数	19,116人	18,133人	18,140人	9,056人	407,386人	380,421人	C: やや計画より遅れている	H30年(オープン年)と比べ、道の駅来場者数が10%程度減少した。新規客の誘客とともに、リピーターとなっていただくための工夫が必要。	品ぞろえの増加や話題性の高いメニューの開発等に取り組む	422,000人	産業建設部	地域産業推進課	
施策	K P I												
	指標名	H26	H27	H28	H29	H30	直近値 (R1)	進捗 S・A・B・C・D	評価 (成果、課題)	今後の取組方針	目標値	担当 部局	担当課
(1) 若い世代が定住しやすい住環境を整備する	①三世帯同居・近居の促進 ②空き家となった住宅の利活用の促進 ③大阪都心のベッドタウンという強みを生かした定住促進	三世帯同居・近居促進(住宅改修等補助)事業の利用件数	—	—	—	4件	5件	5件	B: 計画通り	募集件数5件に対し、5件の利用があったが、制度ありきで転入したわけではなく、直接、定住に繋がったとはいえない。	—	産業建設部	まちづくり建設課
	①三世帯同居・近居の促進 ②空き家となった住宅の利活用の促進 ③大阪都心のベッドタウンという強みを生かした定住促進	定住支援に伴う補助認定世帯数(延べ世帯数)	—	—	—	—	—	3世帯	B: 計画通り	令和元年度途中より、新たな制度へと段階的に移行したが、この制度があったことにより、本町への転入を考えた方もおり、効果としてはあると感じている。	20世帯	産業建設部	まちづくり建設課

施策	K P I										担当部局	担当課		
	指標名	H26	H27	H28	H29		直近値 (R1)	進捗 S・A・B・C・D	評価 (成果、課題)	今後の取組方針			目標値	
(2) 豊かな歴史資源を活用する	①唐古・鍵遺跡史跡公園、ミュージアムの充実	唐古・鍵遺跡史跡公園の来場者数	—	—	—	—	54,422人	116,134人	A: やや計画以上に進んでいる	イベントの開催・誘致により、来園者が増加した。今後、遠足や修学旅行等学校教育の場での利用件数を増加させていくことが課題である。	学校向けに修学旅行等の誘致をするためのパンフレットを作成し、学校教育での利用を促進をはかる。	45,000人	教育委員会	文化財保存課
	②田原本町の歴史・文化的な観光資源の魅力を知らせてもらイベントの実施	唐古・鍵考古学ミュージアム入館者数	9,116人	8,133人	8,140人	4,056人	14,035人	13,278人	A: やや計画以上に進んでいる	平成30年度のリニューアル後、10,000人を超える来館者があるが、徐々に減少傾向となっている。ミュージアムの情報や魅力の発信が課題である。	ワークショップ等を充実させることで、来館者増をはかる。	12,000人	教育委員会	文化財保存課
	③観光客の交通利便性の向上	他自治体や民間などと連携した観光等の歴史イベントの実施回数	2件	4件	4件	5件	5件	5件	B: 計画通り	例年同様、首都圏および県内での歴史イベントに参加し、PRを実施	引き続き、近隣自治体等と連携し、圏域のPRを行う。	5件		地域産業推進課
(3) 田原本町の魅力を発信する	①唐古・鍵遺跡史跡公園と連携する道の駅の整備	道の駅の来場者数	—	—	—	—	262,000人	237,731	C: やや計画より遅れている	H30年(オープン年)と比べ、道の駅来場者数が10%程度減少した。新規客の誘客とともに、リピーターとなっていたための工夫が必要。	品ぞろえの増加や話題性の高いメニューの開発等に取り組む	400,000人	産業建設部	地域産業推進課
	②道の駅を活用した田原本町の魅力の発信													
	③町や地域の取り組みの発信	奈良県広報誌・新聞・フリーペーパーを活用した発信件数	14件	18件	60件	103件	131件	144件	B: 計画通り	令和元年度の実績は、前年度の総件数の約1.1倍となった。特に報道機関への投げ込みは、東京オリンピック2020において、グアテマラ共和国のホストタウンとなったことをはじめとした国際交流、THEWAYCARNIVALや流鏝馬まつりといった一大イベントの開催、いきいき百歳体操元気交流大会やトレトレラーのクラウドファンディングなど各課の挑戦的な取り組みもあり、実績上昇の主要因となっている。 令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響もあり、全体的に活動規模縮小の傾向であるが、その反面各報道機関の行政の取り組みへの関心が高まっていることから、町が行っている、また行おうとしている事業について、積極的に情報提供を行っていく必要がある。	新型コロナウイルス感染症の影響による活動規模縮小の傾向から、受け身になっている情報は得られにくい状況にあるため、庁舎内や、今までの取材で培ってきた人のつながりを駆使して情報を入手していく必要がある。観光協会とも情報交換を積極的に行い、互いに補完しあうことで、情報発信の幅を広げる。 また、今まで以上に各報道機関の、行政の取り組みに対する関心が大きくなっているため、町が行っている、また行う予定である事業について、積極的に情報提供を行っていく。	142件	町長公室	秘書広報課

田原本町まち・ひと・しごと総合戦略の進捗状況

基本目標3 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる													
数値目標・実績													
項目	H26	H27	H28	H29	H30	直近値 (R1)	進捗 S・A・B・C・D	評価 (成果、課題)	今後の取組方針	目標値 (R3)	主担当 部局	担当課	
合計特殊出生率	1.47	1.27	1.45	1.48	1.51	1.51 (H30)	D: 計画より遅れている	全国的な出生率に比べH26、27年と減少し下回るがH28から0.18ポイント上昇し、微増している。転出入が多く、支援が途切れてしまうのが課題である。	田原本町に定住し、安心して子どもを産み育てられるよう子育て支援施策の展開を模索する。	1.63	住民福祉部	子ども未来課	
施策	K P I												
	指標名	H26	H27	H28	H29	H30	直近値 (R1)	進捗 S・A・B・C・D	評価 (成果、課題)	今後の取組方針	目標値	主担当 部局	担当課
(1) 就労・結婚・出産を希望する若者を応援する	①町居住・町出身の若者の就職支援	雇用促進奨励金の交付対象となった従業員数(累計)	1人	1人	1人	1人	1人	5人	C: やや計画より遅れている	奨励金制度の要件を満たすのが難しく、申請がないため数値は伸びていないが、奨励金に関係なく、企業の立地は進んでいるため、雇用は生まれていると思われる。	12人(延べ人数)	産業建設部	地域産業推進課
	②若者世代の活発な交流の促進	新規就農者数(累計)(再掲)	4人	6人	7人	7人	8人	8人	B: 計画通り	約2年に1人のペースで増加している。今後も目標達成に向けて、農業のPRをする必要がある。	10人	産業建設部	地域産業推進課
	③不妊に悩む夫婦への支援	一般不妊治療助成の実施件数	—	—	—	18件	31件	28件	B: 計画通り	令和1年度はほぼ計画通りの実績であった。助成事業の実施の中で早期に特定不妊治療に移行するケースも増加している。所得制限により申請していないケースもあることから、計画通りに治療を受ける人が増えている。	令和1年度より不育治療に対する助成を開始しているが、まだまだ利用は少ない。子どもを授かりたいと願う夫婦に対して、不育症治療、第2子不妊などの相談や制度の案内などを拡充していく。	35件	住民福祉部

施策	K P I										主担当 部局	担当課		
	指標名	H26	H27	H28	H29	H30	直近値 (R1)	進捗 S・A・B・C・D	評価 (成果、課題)	今後の取組方針			目標値	
(2) 子育て環境の充実をはかる	①子育ての経済的な負担の軽減	多子世帯の保育所利用者数	86人	—	79人	76人	86人	74人	B: 計画通り	幼児教育の無償化により、多子世帯のみでなく、広く子育て世代への支援が広がっている。待機児童が多いことから実際の効果としての吟味は難しい。	待機児童対策を押し進めることを優先課題とし、仕事と子育ての両立を支援していく。	76人	住民福祉部	こども未来課
	②保育サービスの充実	地域子育て支援センター利用者数								新型コロナウイルス感染症の影響で、年度末のひるば閉鎖があり、実績が昨年度より減少した。	地域子育て支援センターでの各種講習会や相談の実施、一時預かり事業などの多機能性を持たせることで、きめ細やかな支援の提供を目標とする。	11,100人	住民福祉部	こども未来課
	③きめ細やかな子育てサポートの実施		9,376人	8,484人	6,710人	6,215人	9,217人	8,830人	C: やや計画より遅れている					
(3) 田原本町らしい教育環境を創る	①子どもたちの豊かな人間性の育成	町立幼稚園就園率	48.40%	49.03%	48.64%	48.71%	46.12%	47.87%	B: 計画通り	保護者の就労形態の変化に伴う、「預かり保育」の充実及び「認定こども園」化	平野幼稚園に続き、田原本幼稚園を令和3年度より認定こども園として開園する。	53.00%	教育委員会	教育総務課
	②地域・歴史の学びを通じた、子どもたちの地域への愛着の醸成	おはなし会への参加者数	922人	887人	710人	795人	817人	737人	C: やや計画より遅れている	台風や新型コロナウイルスの影響で、おはなし会を開催できなかった月があるため、実績が減少した。	感染予防対策に配慮しながら開催を継続する。また、図書館だよりなどを通して積極的に広報に努める。	1,000人	教育委員会	図書館
	③経済的理由により就学が困難な児童・生徒・保護者の支援	地域・歴史の学び学習実施学年	1学年	1学年	1学年	1学年	2学年	2学年	B: 計画通り	6年生に加え、3年生若しくは4年生を対象に総合的な学習の時間に弥生体験学習を取り入れた。	副読本「弥生時代をまるごと体験しよう」や唐古・鍵遺跡史跡公園の活用とともに、各校区に残る歴史文化遺産の学習を進めることを通じ、地域への愛着を醸成する。	5学年	教育委員会	教育総務課

田原本町まち・ひと・しごと総合戦略の進捗状況

基本目標4 時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する														
数値目標・実績												主担当 部局	担当課	
項目	H26	H27	H28	H29	H30	直近値 (R1)	進捗 S・A・B・C・D	評価 (成果、課題)	今後の取組方針	目標値 (R3)				
自治会加入率	93%	93%	92%	92%	92%	91%	D: 計画より遅れている	自治連合会の研修や各種補助金の交付等、自治会活動の魅力向上に努めたが、加入率は減少となった。	引き続き、自治会組織・運営を強化し、活動を活性化させ、加入率の増加に向け新規転入者や未加入者への加入を促す。	95%	総務部	総務課		
65歳以上の要支援・要介護認定を受けていない人の割合	84%	84%	84%	84%	84%	84%	B: 計画通り	高齢者数は右肩上がりであるが、通いの場の拡充もあり認定者数増減なし。	引き続き高齢者の介護予防事業を拡充し、認定者数の増加の抑制に努める。	88%	住民福祉部	長寿介護課		
施策	K P I											主担当 部局	担当課	
	指標名	H26	H27	H28	H29	H30	直近値 (R1)	進捗 S・A・B・C・D	評価 (成果、課題)	今後の取組方針	目標値			
(1) 地域コミュニティの強化をはかる	①地域課題の解決を図る自治会の育成・支援	田原本青垣生涯学習センター・弥生の里ホールの利用件数	4,374件	4,705件	4,644件	4,669件	4,690件	4,230件	C: やや計画より遅れている	住民や各種団体の学習活動の場として、また学習成果の発表の場として活用しているが、新型コロナウイルスによる自粛ムードもあり利用件数が減少した。	利用者の活動を促進するため、学びの場だけでなく、そこで得た知識や技術等の成果を発表する場を提供する。	5,000件	教育委員会	生涯教育課
	②文化やスポーツ等を通じた地域活動の支援	町内の体育施設の利用件数	4,583件	4,472件	4,879件	4,757件	4,560件	5,243件	A: やや計画以上に進んでいる	住民の健康増進や体力向上を目指すため、スポーツ拠点として活用し、目標値を超えることができた。	各施設の老朽化が進んでいるため計画的に改善し、施設の安全を各保していく。	5,000件	教育委員会	生涯教育課

施策	指標名	K P I										主担当 部局	担当課	
		H26	H27	H28	H29	H30	直近値 (R1)	進捗 S・A・B・C・D	評価 (成果、課題)	今後の取組方針	目標値			
(2) 誰もが安心して暮らせるまちをつくる	①日常的な健康づくりや急病への対応など住民の健康支援	介護予防サポーター・認知症サポーターの養成人数	32人	768人	416人	609人	406人	239人	S: 計画以上に進んでいる	今までは、講演会や教室を単発で行っていたものをサポーター養成講座と兼ねてすることでサポーターの養成者が増加した。	認知症サポーター養成講座を受けてもらえるような広報周知をしていく。	1,040人	住民福祉部	長寿介護課
	②高齢者が活き活きとした生活を送るための支援	シルバー人材センター登録者数	307人	280人	277人	272人	267人	278人	C: やや計画より遅れている	昨年度より会員数は増加しているものの目標値には厳しい状況ではある。	引き続き退会者数の抑制を図り会員数増加を目指す。	390人	住民福祉部	長寿介護課
	③防犯・防災体制の強化によるまちの安全の確保	自主防災組織登録数	60団体	69団体	73団体	74団体	76団体	76団体	C: やや計画より遅れている	自主防災組織未結成の自治会の多くは、役割分担と人員配置が難しいため設立に至っていない。今後も、自主防災組織の重要性を案内し、増加を目指す。	自主防災組織の重要性・補助金の案内・軽易な結成方法を示し、新規結成に向け働きかけていく。	97団体	総務部	防災課
		LED防犯灯への交換率	33%	56%	78%	100%	100%	100%	B: 計画通り	自治会所有防犯灯は蛍光灯からLEDへの交換が終了している。	自治会所有防犯灯は蛍光灯からLEDへの交換が終了している。	100%	総務部	総務課
		乗合タクシー「ももたろう号」利用者数	4,700人	5,298人	5,731人	5,874人	1,549人	-	-	平成30年度7月よりタワラモトンタクシー利用料金助成制度に移行	平成30年度7月よりタワラモトンタクシー利用料金助成制度に移行	-	町長公室	企画財政課
		タワラモトンタクシー利用実人数	-	-	-	-	2,338人	2,869人	A: やや計画以上に進んでいる	新型コロナによる年度末の利用の落ち込みがあったにも関わらず、前年から500人以上の伸びで、当初の想定以上に実利用者が増加。	引き続き事業の周知等を図ることにより、利用者の増加に努めていく。	3,000人	町長公室	企画財政課